

いきいき! マイタウン

まちで起こった出来事や
気になるあの人を紹介します。



貨物鉄道博物館の開館日（大安町丹生川中）

新しい市の拠点が誕生

大道芸お披露目

6月30日（日）、藤原町の旧中里小学校で大道芸のお披露目会が行われました。これは旧中里小学校の再活用を目的として活動している、地域おこし協力隊の近藤匡さん、芝山武志さん、矢作仁さん、浜田優香さんが企画したものです。

これから小学校でイベントを企画したり、夏にカフェをオー



1.大道芸のコンクールで優勝した技で盛り上がった2.カフェ担当の浜田さんも技を披露3.あっという間にパルーンアートが完成4.皿回しの体験ブースも設置



ブンしたりするため、地域の人に取り組みを知ってもらおうと、活動の第一歩として開催したものです。

会場には多くの方が足を運び、バランス技やパルーンアートなどのパフォーマンスを楽しみました。近藤さんは「ここを拠点にして、多くの人に集まってもらう場をつくっていき」と意気込みを語りました。

新庁舎移転後初

知事と市長 1対1対談

7月8日（月）、鈴木英敬三重県知事と市長の1対1対談が行われました。この対談は毎年行われているもので、今年は「にぎわいの森を核にした地方創生」「カートラベルと観光と防災」「フェアトレードの推進」をテーマに話し合いました。

対談前には、にぎわいの森を視察。にぎわいの森について市長は「全ての店舗がいなべの食材を活用してくれています。いなべの食材の発掘を広域で行いたい」と話しました。知事は「9月に京都府で行う三重県フェアで県外に情報発信します。県のフードイノベーションネットワークに、にぎわいの森の店舗にも加わっていただけたら」と話しました。



1.にぎわいの森を視察。店舗の店長との交流も行いました2.1対1対談の様子。対談前には、にぎわいの森で販売している商品を試食



桑名工業高等学校ハンドボール部

インターハイ 初出場

桑名工業高等学校ハンドボール部が、6月2日（日）に四日市市で開催された三重県高等学校総合体育大会で初優勝し、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に初出場します。6月24日（月）、同部に所属するいなべ市出身の選手らがこのことを市長に報告しました。

田中瑛人さん（3年）は「県総体では、勝ち負けを意識することがなく楽しんで試合ができた。インターハイではレギュラーで出場するので、チームのために貢献したい」と話していました。

また、森裕正さん（3年）は「チーム目標の全国ベスト16に入れるように頑張りたい」と意気込みを語りました。



（左から）森さん、田中さん、斎藤基貴さん（3年）、鈴木椋斗さん（1年）

全国ビデオ映像コンテスト 入賞作品

まちおこし動画「そばにいるから」

いなべを面白くする活動を行う団体「inap」が、阿下喜のまちを舞台に動画作品「そばにいるから」を制作しました。7月14日（日）、完成作品を携え、出演者とスタッフのトークショーが岩田商店ギャラリーで開催されました。

監督の加藤雄介さんは「多くの地域の人と一緒に作り上げた。さまざまなコンテストに出品し、地元だけでなく市外のたくさんの人に見てもらいたい」と話していました。



なお、絵コンテや作品制作中のオフショットなどの展示が8月13日（火）まで岩田商店ギャラリーで開催されています。

「そばにいるから」全編公開▶



1.撮影は昨年夏2.主演のいなべ総合学園高等学校3年貫代実津季さんが主題歌を披露

5つの小学校で実施

ウィーラーズスクール

5～6月に、阿下喜・山郷・笠間・員弁東・員弁西小学校でキナンサイクリングチームがウィーラーズスクールを開催しました。5校合わせて児童860人が参加。選手やいなべ警察署員らが自転車競技や自転車の安全な運転方法について話したあと、児童は実際に自転車に乗る体験をしました。



地域おこし企業人として、自転車を活用したまちづくりを行う中西健児さんは「自転車の楽しさを知ってもらい、安全に乗ってもらいたい」と話していました。



1.ヘルメットは必ず着ける！（員弁西小）2.運転中の児童を応援（阿下喜小）3.実習（山郷小）4.キナンの選手との交流（笠間小）5.キナンの加藤GMも指導に（員弁東小）

